

創造

JA いけだ
CREATION

今月号の表紙写真は、役員視察研修で沖縄県の首里城守礼門を訪れた際の集合写真です。詳細は2～3ページをご覧ください。



CONTENTS

- ※平成29年度
役員視察研修報告
- ※第40回十勝農協連
海外農業研修視察
- ※しょくいくつうしん
- ※青年部冬期研修会を開催

- ※21NEWSアラカルト
- ※シリーズ 協同組合と報徳
- ※新たな農協部会長会
- ※退職のご挨拶
- ※生産資材課より
- ※JAグループ通信

- ※畜産部通信
- ※未来人
- ※今月の1枚
- ※理事会の動き
- ※編集後記

2018.

2
FEBRUARY

No.098

平成29年度 役員視察研修報告

理事 増野 隆 教



本部町の海岸にて

農協役員に就任し初の役員研修へ参加しました。今回は平成29年12月10日から13日にかけて沖縄本島へ赴き、当農協の農産物を取り頂いている㈱ワタリ様、また、ワタリ様が100%青果物を納入している総合小売業の㈱サンエー様、サトウキビ生産者と圃場視察等足早になりましたが貴重な対談・経験をする事が出来ました。

株式会社ワタリ沖縄支店

初めに訪問した㈱ワタリの黒田支店長のお話を伺いました。週3回、北海道からトレーラーで5日かけて沖縄へ青果物を運び㈱サンエー食品加工センター内で生鮮野菜の保管、パック詰めを行い沖縄県内サンエー65店舗の細かいオーダーに対応していました。24時間50名体制で70〜100アイテムを1日3万パック処理しているとのことでした。実際小分けパック詰めの作業風景を見学しましたが、各生鮮野菜のテーブル毎にチーム編成され驚くほどの素早さで作業されていました。

ワタリ様と当農協のつながりは平成28年度の実績では食用馬鈴薯132t、ネバリスター398t、玉ねぎ14t、金額ベースで2億円を超す大切な取引先でJA十勝池

田町の農産物を高く評価いただくと共にもつと供給して欲しいとのお話を聞き、JA十勝池田町の生産者の一人として各生産部会のためまめ努力を高く評価され更に供給増と言って頂けたことを組合員の皆様に伝えたいと思いました。



㈱ワタリ 黒田支店長による説明

サンエー那覇メインプレイス

後日ワタリ様が青果物を納入しているサンエー那覇メインプレイスを視察しました。サンエー様は平成28年沖縄県企業売上ランキング1位で、県内で消費者に支持されている事も実感しました。1日の集客数が6万人でそのうちレジを通過する人が2万人という事で、実際にメインプレイス店内の青果物コーナーを訪れました。嬉しい事にメークインはJA十勝池田町のネーム入りパッケージで棚に残



(株)ワタリ 沖縄支店視察

サトウキビ収穫体験

された量が少なくなり消費者へ多くご購入頂いている事が窺えました。ここでも生産者としてシーンと嬉しくもあり、生産・流通・販売と信頼関係を深める必要性にも気付かされました。

サトウキビ生産者の圃場では専用の鎌を用い、収穫を体験しました。そこでは一本一本を鎌で収穫すると知り、私たちの収穫機が当たり前前という概念が吹き飛び、日



(株)ワタリ 社員の皆様と記念撮影

沖縄の歴史

頃の収穫作業でご苦労されていた事に敬意を感じました。

首里城、県内の米軍基地周辺も見学し、沖縄の歴史や現状を感じて来ました。最終日には沖縄平和祈念資料館、ひめゆりの塔を訪れ第2次世界大戦時沖縄の悲惨な激戦の状況と兵士、民間人の悲しくも無残な最後の状況を知る事となりました。現在、私たちが当たり前のように暮らしている平和な社



サトウキビの収穫をする鈴木組合長

研修を終えて

会は、この多くの亡くなった方々の屍の上に立っている事も忘れてはならないとご冥福を祈りつつ沖縄を後にしました。

今回の研修は事前に考えていた以上の勉強となりました、感じ入る事も多く有りました。

これからの経験や学んだ事も自分の中で消化し、今後の農協運営に反映出来ればと思います。



ひめゆりの塔での慰霊



第40回 十勝農協連海外農業研修視察

～オーストラリア視察研修報告～

十勝農協連海外農業研修視察は、海外の生産現場などの研修視察を通じて、農業生産水準の向上を図り、十勝農業の発展に寄与することを目的に実施され、今年で40回となります。

今回は平成29年7月4日～14日の11日間に渡り、オーストラリアの農業情勢の研修を目的に、管内7農協の役職員14名に事務局・添乗員を含めた16名の参加で、開催されました。当JAからは、多田理事、塚谷理事が参加させて頂きましたのでご報告いたします。

ポウケット肉牛農場 (デュランバ)

ゴールドコーストより50kmほど南下し、ニューサウスウェールズ州北東部の高台に位置します。本農場は家族経営で120エーカー(49ha)の山地にリムジン、アングス、デボン、ブラーマン種等繁殖雌牛240頭と数頭の種雄牛を放牧しています。生産される雌仔牛は22～24ヶ月育成され約1700豪ドル(約15万円)で繁殖牛と

して販売され、3～4年飼養されます。雌仔牛は9ヶ月齢、約280kg、800～900豪ドル(72000～81000円)で食用肉として出荷され、歩留り約54%、枝肉重は約160kg程度です。

オーストラリアでは、肉量の多いリムジン種より肉質の柔らかなアングス種に人気があり価格も高いそうです。飼養管理は粗放的で分娩から出荷迄、放牧地で飼育され配合飼料の給与もなく、牧草が伸びすぎると掃除刈をする程度のものです。

ジュリアス野菜農場 (クジューン)

クジューンはゴールドコーストより50kmほど南下し、ニューサウスウェールズ州北部に位置する町です。この地区のクジューンという名前は原住民の「肥沃な赤土」という言葉が由来で、近郊の火山が噴火した際に堆積した赤土土壌が広まっていた。

ジュリアスファームでは、現在5代目のスコット氏(31歳)が家族で経営しています。季節労働者も雇用して、125エーカー(50ha)の農地に、トウモロコシ、タロイモ、サツマイモ、サトイモ、豆類を主に栽培していました。以前はトマトを栽培していましたが、価格が下落したことから、イモ類に転換をしました。タロイモは1kgあたり6豪ドル(540円/kg、

ポウケット肉牛農場 (デュランバ)



ジュリアス野菜農場（クジュン）



サツマイモは1kgあたり4・5豪ドル（400円/kg）で取引されていきました。サトイモの種は石川県から導入し、日本料理店に販売しているそうです。

農場の圃場視察の感想ですが、畑は綺麗な赤土でしたが、十勝の畑のようにきちんと整地はされておらず、荒れているように感じました。イモの播種時にプラスチック製の水管と一緒に埋設し、雨水をポンプアップして水を与えているとの説明でした。収穫は季節労働者が手作業で行っており、機械での収穫を行っていない説明を受け驚きました。2007年に発生した大干ばつの際は、ポンプアップする水がなくイモに水が送れず、日に日に作物が枯れていくのを見て、水の大切さを思い知らされたそうです。

研修に参加して

理事 多田 彰 弘

オーストラリアの広大な農地をイメージしていましたが、視察先は東海岸中央部（ブリスベンからシドニー）の比較的十勝に似た規模の肉牛、酪農、畑作農場でした。

適度の降雨があり木々の生い茂る緑豊かなところでありました。

オーストラリアは農業に対する国の政策や支援がほとんど無く、自然災害に見舞われても自力で立て直さなければなりません。農産物も自ら販売の開拓を行い、出資をするなど努力しているそうです。オーストラリアの99%が家族経営でありながら協同組合の考え方がないことに驚くとともに、日本における協同組合は農業者にとって極めて重要な組織であることを再認識しました。

結びとなりますが、今回の海外視察研修を企画して頂いた十勝農協連、参加にご理解頂いたJA十勝池田町に心より感謝し、報告とさせていただきます。

研修に参加して

理事 塚 谷 亨

オーストラリアでは2000年の輸入自由化により、国からの政策支援等が一切なくなり、離農者がかかり出た中で、現在も営農している人たちの頑張と熱意には驚かされるものがありました。農業規模は大きく会社経営による農業

経営を想像していましたが、今回の視察先はオーストラリア東海岸中央部のため比較的十勝に似た規模の農場だったためか、家族経営が主流となっていることに驚かされました。

畜産農場は、冬でも平均気温が15〜20℃位で暖かいため牛舎を持たずに放牧飼育を行うなど、日本の畜産施設との違いに驚かされるものがありました。畑作は、規模が小さくトラクターは2台、収穫作業は手作業で、3毛作を行い一年中季節の作物をフリーマーケットやスーパーなどに自分で開拓し直接販売をすることで生計を立てていたことがとても印象に残っています。

日本の農業は政策支援などがあり、色々な人、組織、国などに支えられてきたことを再認識いたしました。これからの自分の経営や組織運営に役に立つ経験となりました。このような貴重な経験の機会をあたえていただいた、十勝農協連をはじめ、JA十勝池田町、関係者の皆様に深く感謝いたします。



大豆をミキサーの中へ



講師：松浦まさ子さん（写真左）



最後はみんなで試食



こし袋に入れた大豆を一生懸命に絞る子どもたち

12月16日（土）第5回目作業

第5回 食育事業

12月16日（土）、第5回目となる食育事業を行いました。近年は農産物を畑で育て、その場で試食して終了していた食育事業ですが、今年度は昨年度より面積を拡大した食育圃場に作付けした大豆を使用して、豆腐作りを行いました。

講師を川合地区・松浦まさ子氏にお願いして、女性部の方々や青年部員数名にも協力していただき、総勢52名の方々に参加していただきました。

当日は9時半頃から開始しましたが、慣れない作業の連続と大量の大豆を豆腐にしていかななくてはならないと言う事で多少バタバタしましたが、無事に作り上げることが出来ました。その後の試食では、大豆のミキサーの具合やその後の煮詰め方、入れるにがりの量などで豆腐の味や硬さが全然違う豆腐を食べ比べていただき、子供達にもそれを感じて貰えたのかと思います。豆腐作りは力のいる作業もありとても大変でしたが、その苦勞の先に美味しい食べ物ができるという体験が子供達にとって大きな経験になっていれば嬉しく思います。

講師をして頂いた松浦氏をはじめ協力して頂いた女性部の方々、青年部の方々には大変感謝致します。ありがとうございました。

（記事・青年部長 甘利 充）

青年部冬期研修会を開催

～ポリシーブックの作成に農協職員も参加～

12月19日、農協本所大会議室にて青年部冬期研修が行われました。今年の内容は昨年度と同じポリシーブックについての内容でした。同じ内容でも今年はさらに一步踏み込んだ形の内容にしようと思い、農協職員にも各テーブルに1名ずつ参加してもらい、農協

としてできることやすでにしていること、農協職員として思うことも参考意見としてポリシーブックに取り入れさせてもらいました。青年部員25名、農協職員6名の計31名のご参加により昨年度よりも我々池田農協青年部により合ったポリシーブックができるのではないかと考えています。

まだまだ、我々青年部のポリシーブックというのは部員間にも周知しきれていないように思えます。ポリシーブックの作成意義。使用用途や使用目的など理解しきれてない部分もありますが、これからも続けていかなければならないものと青年部では認識しています。トップダウンではなくボトムアップが日常になる青年部になるため、すべての部員でつくるポリシーブックを目標にこれからも研修の一つとして取り入れていくべきではと思いました。

夜は場所を変え、青年部忘年会。そして十勝地区農協青年部協議会が主催の海外研修に参加する多田将平さんの壮行会が行われました。事務局含め38名の参加で盛大な会となりました。多田将平さんからは海外研修への意気込みをしっかりと聞けました。この記事が出ているころにはア



ポリシーブックについての意見交換



グループごとによる発表

メリカにもう行っていると思います。アメリカでしっかりと勉強して部員への刺激となる話も聞けたらなと思います。飲みすぎには注意してもらいたいものです。

今年度は収穫が豊作に終わり、皆の表情も豊かで財布の紐も若干緩んでいるように思えました。忘年会とはいいますが、出来の良かった今年を忘れず、来年度以降も今年以上の収穫量を池田町全体で目指していきたいものです。

(記事・青年部副部長 林 雅嵩)

慰労会の様子



施設課

季節従業員
慰労会開催

1月13日～14日に十勝川温泉観月苑にて季節従業員慰労会が開催されました。日頃より十勝池田町の農産物を消費者へより安心、安

全にお届けできるようご尽力をいただいている従業員への感謝の気持ちを込め開催をしております。当日は40名が参加し、ビンゴゲームやカラオケなど日頃の作業とは違った一面を披露していただけた人などもおり、終始和やかに楽しい時間となりました。

施設課と致しましてはこれからも職員と従業員のコミュニケーションを大切にしながら働きやすく、やりがいのある職場となるよう勤めてまいります。
(記事・施設課 上田宝文)

畜産課

酪農振興会婦人研修

12月22日～23日、4名の参加のもと、標記研修に行き参りました。1日目は札幌にて、劇団四季ミュージカルを観賞後、札幌ファクトリーやミュンヘン・クリスマス市にてお買い物を楽しめました。2日目は小樽へ移動し、似鳥美術館でステンドグラスや、世界のアートを鑑賞しました。三角市場、かま栄、ルタオにも立寄り、沢山のお土産を購入されていました。寒い中ではありますが、大変充実した研修となりました。

(記事・畜産課 前田実祐)

札幌ファクトリーでの集合写真



入るを量^{はか}つて
出^いずるを制^{せい}す

分度とは一種の支出制限法でもあります。単に支出を制限するだけでなく、知恵と工夫で収入(天分)の拡大を図ることが非常に大切です。そして、拡大した収入もブレを生じないよう徹底的に調査して、この収入の範囲に収めるよう歳出をコントロールすることなのです。つまり確実な収入計画に基づいて、収支予算計画を組み実行することです。

国の予算などは歳出から決めて、足りない分は借金でまかなうやり方を行っています。報徳の分度は天分(収入)があつてはじめて支出があるのです。

(北海道報徳情報
報徳生活読本より)



平成30年1月から 新たな農協部会長会

平成30年1月から、農協部会長会が新たな部会長によりスタートしました。

新部会長の構成は、以下の19名の方々により、平成32年12月までの任期期間、農協事業活動にご協力頂きますようお願い致します。

尚、部会長会役員につきましては、会長 福田秀利さん（川合Ⅱ）、副会長 太田孝臣さん（千代田北） 会計 宮前裕治さん（十日川・青山）となりましたので、併せてご報告致します。

部会長の皆様



農協部会長会及び役員の皆様

（敬称略）

地区名	役員	氏名	地区名	役員	氏名
利別		伊賀 茂	清見Ⅰ		山根 隆
川合Ⅰ		榎澤 達也	清見Ⅱ		三寺 盛博
千代田東		山田 敏樹	昭栄南		前道 尚広
千代田南		石田 勉	昭栄		原口 直之
千代田北	副会長	太田 孝臣	昭栄北		野澤 敬裕
豊田Ⅰ		守内 拓司	東台Ⅰ		窪田 要
豊田Ⅱ		長尾 修	東台三愛		野上 稔
青山・十日川	会計	宮前 裕治	東台幹線		稲毛 康晴
			富岡		石井 康幸
			川合Ⅱ	会長	福田 秀利
			様舞		矢柳 敏弘

.....

この度、平成30年1月31日をもって、十勝池田町農業協同組合を退職させていただきました。本来であれば直接ご挨拶をすべきところ、誌面での挨拶となりましたことお詫び申し上げます。

入組から6年10か月と短い間ではありましたが、在職中は公私共に皆様の暖かいご指導ご厚情を賜りましたことを心より感謝申し上げます。

組合員皆様のご健勝と御発展を心からお祈り申し上げます、お礼のご挨拶と致します。



農産部 農産課
三村 太志 さん
（平成23年4月1日入組）

退職のご挨拶



生産資材課より

平成30年度農薬取りまとめ 全品目10%値引きにて実施中!

日頃より、生産資材課事業の運営にご協力
頂き、誠にありがとうございます。

生産資材課では現在平成30年度早期農薬取
りまとめを実施中ですが、昨年度に引き続き
購買事業の基本であるコスト削減に向けた低
価格での供給に重点をおき、より一層充実し
た取りまとめを実現する為に、農薬取りまと
め価格を全品目10%値引きにて実施しております。



組合員皆さまの農薬コスト削減のためにも、是非取りまとめをご利用いただきま
すようお願いいたします。

1. 取りまとめ品

平成30年度 農薬

2. 申し込み期限

平成30年2月17日（土）

3. 取りまとめ価格

全品目、当用期価格より10%織込み値引き

4. 価格動向

国内需要が停滞している中、安全性確保のための規制強化により製造コスト
の増大、銅などの原料が一部値上がりしているものの大半の品目で据え置き。
ビート剤を中心とした主要薬剤や大型規格等が値下がりとなり、加重平均で
▲0.5%の値下げとなりました。

JAグループ通信

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。JA北海道大会決議事項の実践やその時々の特ピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会

昨年11月21日に札幌市で開催した「JA北海道大会実践フォーラム」では、JA北海道大会（平成27年開催）の決議事項の実践機運を高めること等を目的に、『新規担い手倍増』と『道民と食と農でつながるサポーター550万人づくりと准組合員制度』をテーマに取り上げ、JAの実践事例発表とパネルディスカッションにより、『担い手受け入れへの地域合意形成』と『准組合員との関係強化』の大切さなどを再認識する場となりました。



JA北海道信連

昨年11月に「食」と「農」をテーマに開催された「北海道アグリ・フードプロジェクト」に参加しました。当日は、キャンペーンチラシの配布などでJAバンク北海道や「ドローン貯キャンペーン」等のPRを行ったほか、口座開設を予約された方に「ちょリスブランケット」をプレゼントしました。今後も積極的にイベント等へ参加し、JAバンクのPRを通じて、サポーターづくりに取り組んで参ります。



ホ ク レ ン

道産牛乳・乳製品の消費拡大を目的に酪農家の拠出金で継続的に実施している「ミルクランド北海道」事業の一環として、東京都武蔵野市吉祥寺の商業施設「コピス吉祥寺」に期間限定ショップ「MILK LAND HOKKAIDO→TOKYO」（平成29年11月15日～平成30年3月25日）を開催し、北海道酪農を広くPRしております。会場では北海道の酪農家が実際に訪れ、来場者と交流するイベントも毎月開催しています。



JA共済連北海道

2月5日から12日まで開催される「第69回さっぽろ雪まつり」7丁目会場にて、平成29年度JA共済 全道小・中学生交通安全ポスターコンクールの入賞作品65点を展示します。

JAとJA共済連北海道は、交通ルールの大切さや交通安全に対する願いが描かれた小・中学生の皆さんの作品を通して、交通事故防止の意識づくりにつなげたいと考えています。



JA北海道厚生連

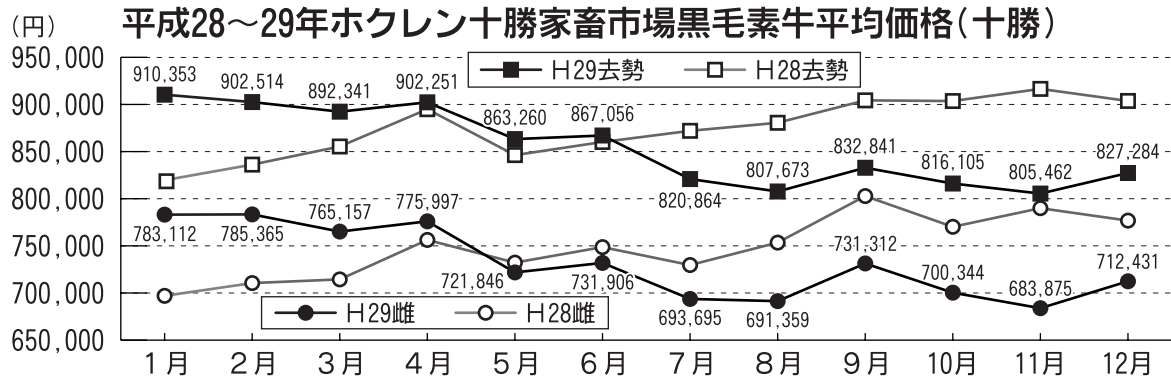
組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。





畜産部通信

畜産部
畜産課



12月黒毛素牛出荷区分別成績

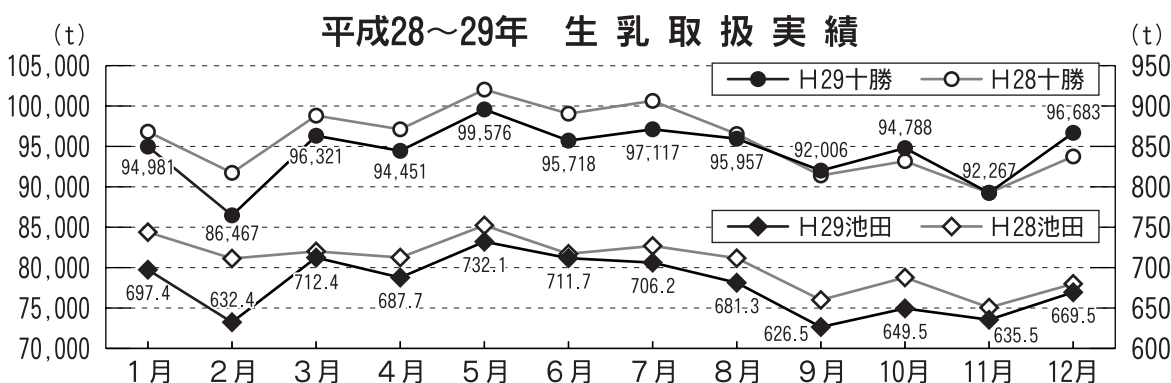
【金額(円)】

区分	取引頭数	平均価格(税込)	参加率・認定率
去勢	和牛素牛	772	827,284
	マニュアル参加牛	497	830,492
	マニュアル認定牛	45	950,472
池田	和牛素牛	48	821,993
	マニュアル参加牛	45	828,216
	マニュアル認定牛	5	900,504
雌	和牛素牛	582	712,431
	マニュアル参加牛	381	717,335
	マニュアル認定牛	19	953,243
池田	和牛素牛	40	675,837
	マニュアル参加牛	38	646,620
	マニュアル認定牛	1	746,280

12月ホクレン十勝枝肉市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税抜)
2日 9日	黒毛去勢	A-5	2,690
		A-4	2,478
		A-3	2,263
	黒毛メス	A-5	2,606
		A-4	2,454
		A-3	2,228
	F1去勢	B-3	1,336
		B-2	1,182
	F1メス	B-3	1,323
		B-2	1,144



12月ホクレン十勝乳牛市場

【金額(円)】

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
4日	乳牛育成	489	491,704
20日	乳牛初妊	783	843,657
21日	乳牛経産	142	415,192

12月十勝中央家畜市場

【金額(円)】

区分	平均価格(税込)	前月比
乳牛オス初生	123,607	+ 5,233
F1オス初生	241,756	▲ 13,068
F1メス初生	147,576	▲ 13,485
廃用牛	153,901	▲ 10,681



千代田地区

たけ だ だい じ
武 田 大 治 さん
(29歳)

Vol.44

未来人

Mirai Bito

プロフィール

家族は妻・舞奈さん、子・侑芽ちゃん、父・茂さん、母・まち子さん、祖母・初枝さん。
畑作・肉牛を営む。本別の農業大学校を卒業後就農。

「就農 農当時は牛に興味
なかった。」と話
してくれたのは、今年で就農
10年目を向える大治さん。

就農1年目に先輩方に誘われ町の共進会を見に行き、翌年から出品するようになった。初めて参加した共進会では十勝まで進出。しかしそこでは思うような成績を残すことができなかった。「その時に悔しい思いをして、どうすればよくなるのか自分で考えていろいろとやるようになり、牛に興味を持ち始め、面白いと思うようになった。」と話す。

5年前に行われた全国共進会にも出場した経験があり、優秀な成績を収めている大治さん。昨年開催された全国共進会には惜しくも出場を逃してしまった。「今回出場できなく悔しかったし、自分の力不足を感じた。家族や周りの方々に支えてもらった分申し訳ないと言っ気持ちだった。また5年後どうなるか分からないけど、やれることはやって頑張りたい。」と意気込む。

大

大治さんは昨
年の8月に
第一子となる侑
芽ちゃんが誕生
した。

また父・茂さん
から経営を引き
継ぐなど節目と
なった昨년을振
り返ってもらっ
と、「今までは
雇われていると
いう感覚が強く、
なんとなくやって
いる状態だったが、経営
者になると責任がのしかか
り、家族の為にもやらなきゃ
いけないと思うようになった。」と心境の変化を話す。

青

青年部では過去に支部長
を務めた経験がある。

「青年部はみんなが集まっ
てワイワイやるのが楽しい。
色々な人と繋がれるし、自
分にはない物の話を聞くのは
勉強になるし楽しい。」と



調教の様子

最

最後に今年の意気込みを
聞くと「去年は経営移
譲・全共の選抜会・結婚式・
第一子の誕生と様々な事が
あり、あっという間に駆け
抜けた一年だった。経営に
関してはまだまだ分からない
事ばかりなので、今年は
一からしっかりと勉強して
頑張りたい。」と話してく
れました。

話す。

理事会の動き

第 11 回

〈平成30年 1月30日〉

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の脱退及び資格変動について
- (2) 組合財務の現況について
- (3) 12月末基準決算見込みについて
- (4) 平成29年末組勘整理実績について
- (5) 特定組合員の年末整理状況及び負債残高について
- (6) 共計品の精算について
- (7) 平成30年産農作物の作付予定面積の集計結果について
- (8) 固定資産の取得について

★ 議 案 ★

- (1) 組合員の相続による出資金持分譲渡並びに新規加入承認願いについて
- (2) 組合員の資格変動並びに出資金持分減口承認願いについて
- (3) 自治監査結果の報告について
- (4) 金融部営業時間の変更について
- (5) 平成30年度各種事業に対する利用料金料率の設定について
- (6) 地区懇談会の開催について
- (7) 資産の償却・引当基準の一部改正について
- (8) 生乳受託販売規程の一部改正について

今月の1枚



食品加工サークル例会

今月の1枚は1月26日（金）に行われた、食品加工サークル例会での1枚です。

いもだんご、コロッケ、焼肉のタレを作り、昼食用とご家庭での保存用にたくさん作りしました。

2月9日より冬季オリンピックが韓国・平昌にて開催されます。前回のソチオリンピックでは日本は8個のメダル（金1、銀4、銅3）を獲得しました。今回も多くの日本人が活躍し、沢山のメダルを日本に持ち帰ってくれることを期待して応援したいと思います。

2月はインフルエンザの流行がピークを迎えます。予防接種を受けている方も油断せずに、体調管理には十分お気を付け下さい。

（杉山）

